

へスズメバチの巣の駆除を依頼した場合、町の補助要綱に従い申請により1件当たり駆除費の2分の1、上限1万円を補助金として支出された合計額である。

問 除染対策事業委託費435万2400円について。また、放射能測定は15地区157地点との説明だったが。

答 東日本大震災時の放射能汚染対策特措法による補助事業である。内訳は仮置場監視業務委託料259万2000円、除染実施計画対象地区空間線量経過観測業務委託料176万円余。測定157地点については環境省のガイドラインを基準に、国の指示により行われている。財源については両業務とも国10分の10の補助で実施されている。

問 消耗品の578万4000円余は町指定ゴミ袋購入費とのこと

だった。関連して店頭販売価格が値上げされたが、経過は。

答 昨年度町指定ゴミ袋の納入業者から、原料の価格上昇により町への納入単価値上げの話があった。これまで数回納入価格の値上げがあったが、町指定小売店への卸価格及び店頭小売価格は十数年間据え置きしていた。やむなく値上げを今年4月より行った。

問 不妊治療費広告料について。

答 上毛新聞の月刊フリーペーパー『デリジェイ』の広告掲載料である。町の不妊治療費助成事業を拡充したので、その周知をするために広告掲載をした。助成額を大幅に増額したこと、住民登録口の治療から助成の対象となるため、転入のきつかけとしたく全県版見開き広告をした。

問 サル追い隊の業務は、追払いのみか。

答 そのとおりである。本来、野猿が生息する山中へ追い上げることが活動の主題としている。

問 中小坂二岩地区で、サルのかげの証実験をしているが、サル追い隊がサルを追えば罠に入らなくなる。

答 サル追い隊員には、罠い罠付近に近寄らないよう指導している。

問 サル追い隊の活動状況を確認できるものがあるか。

答 業務日報を提出させている。

問 下仁田町経営体育成支援事業補助金は、施設の雪害補助だと思いが事業は完了しているのか。また、総事業費はいくらか。

答 事業は平成27年度に全て完了している。総事業費は1億154万7000円である。

問 ぐんま緑の県民基金(繰越)2109万2000円について、事業費に対し歳入の割合が4割程度となってい



大桑原地区内

着工前



完成

るが、6割が地元負担ということか。

答 当事業については、平成26年度繰越事業分として実施したものであるが、地元より負担金は徴収していない。県補助金に対する不足分については、全て一般財源で負担している。

問 下仁田町ぐんまの木で家づくり支援事業183万4000円について、新築3件・改

装1件に対する補助との報告を以前に受けたが、対象者は元々町内に在住する者のみか。

答 町外から転入し、住居を構えた者はいないか。

答 新築・改装とも、以前から町内に在住している者である。

問 電気自動車急速充電器保守について、急速充電器の保守および利用状況はどのようになっているか。

答 急速充電器について、町の維持管理負担として保守点検費・損害保険料・電気料で計57万3000円余を町が負担している。しかし電気自動車の普及を目的とし、トヨタ・日産・東京電力等が出資する会社(合同会社日本充電サービス)から「充電機インフラ支援金」が、前年度の実績に応じて翌年度に入ってくる。